第６講
帝政ローマとキリスト教の成立①

【１世紀ローマ帝国史】地中海最大の穀倉(こくそう)地帯であるエジプトの獲得を背景にオクタヴィアヌスは元老院から(1)〔　　〕の称号を与えられ，(2)〔　　〕と呼ばれる帝政を開始した。(3)〔　　〕年だ。この語は自らを(4)〔　　〕と名乗ったことに由来する。(5)〔　　〕年の(6)〔　　〕では(7)〔　　〕人に敗れ，以後(8)〔　　〕がローマ帝国とゲルマン人の境となる。『**ゲルマニア**』は(9)〔　　〕の作品だ。

第２代皇帝ティベリウスの時，**イエス＝キリストがローマのユダヤ総督**(10)〔　　〕**により**(11)〔　　〕**で処刑されたが**，使徒(しと)たちのうち特に(12)〔　　〕によりキリスト教はローマ帝国内に広められた。第４代皇帝クラウディウス帝の妻アグリッピナの連れ子がネロだ。(13)〔　　〕年のローマの大火に起因する(14)〔　　〕によるキリスト教迫害(はくがい)によりパウロやペテロは殉死(じゅんし)したとされる。(15)〔　　〕年にはイェルサレムがローマ帝国に征服され「(16)〔　　〕」と呼ばれる西の壁だけが現在残っている。79年に(17)〔　　〕が噴火し(18)〔　　〕の町が埋没(まいぼつ)した。『**博物誌**(はくぶつし)』の(19)〔　　〕が見に行って窒息(ちっそく)死した。(20)〔　　〕年には円形競技場(21)〔　　〕が完成。キリスト教徒はランチタイムの余興としてライオンに食い千切られた。キリスト教徒が隠れ活動した地下の隠れ家が(22)〔　　〕だ。

コロニア＝アグリッピナが(23)〔　　〕，**ルテティアが**(24)〔　　〕，**ロンディニウムが**(25)〔　　〕，**ヴィンドボナが**(26)〔　　〕。メディオラヌムが(27)〔　　〕。これらがローマ時代に発展した都市である。

【五賢帝(ごけんてい)時代】(28)〔　　〕年から(29)〔　　〕年までは**五賢帝時代**と呼ばれ，ローマ帝国の最盛期だ。(30)〔　　〕は**養子相続**(ようしそうぞく)を開始，次の**イスパニア出身**の(31)〔　　〕は(32)〔　　〕（現ルーマニア）を平定しローマ人を植民し**帝国領土は最大**となる。だからルーマニアは(33)〔　　〕で唯一(34)〔　　〕系の国なのだ（たいていはスラヴ系）。(35)〔　　〕は**スコットランドに**(36)〔　　〕を築いた。また第２ユダヤ戦争の結果，ユダヤ人をイスラエルから(37)〔　　〕させたので，**イスラエルは**(38)〔　　〕**という呼称に**なった。(39)〔　　〕をへて，５人目の(40)〔　　〕（『(41)〔　　〕』を**ギリシア語**(42)〔　　〕

解答

（1）アウグストゥス　（2）プリンキパトゥス（元首政）　（3）前27
（4）プリンケプス（第一の市民）　（5）9　（6）トイトブルク森の戦い　（7）ゲルマン
（8）ライン川ドナウ川　（9）タキトゥス　（10）ポンテウス＝ピラトゥス
（11）イェルサレム　（12）パウロ　（13）64　（14）ネロ帝　（15）70　（16）嘆きの壁
（17）ウェスウィウス火山　（18）ポンペイ　（19）プリニウス　（20）80
（21）コロッセウム　（22）カタコンベ　（23）ケルン　（24）パリ　（25）ロンドン
（26）ウィーン　（27）ミラノ　（28）96　（29）180　（30）ネルウァ　（31）トラヤヌス
（32）ダキア　（33）バルカン半島　（34）ラテン　（35）ハドリアヌス　（36）長城
（37）離散(りさん)（ディアスポラ）　（38）パレスチナ　（39）アントニヌス＝ピウス
（40）マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス　（41）自省録(じせいろく)　（42）コイネー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

で著す (43)〔　　〕の哲学者）までが五賢帝時代だ。『(44)〔　　〕**西域伝**（さいいきでん）』にでてくる「(45)〔　　〕」とは彼であると推察される。また，現ベトナムの (46)〔　　〕で発掘された金貨には彼の名が刻印されている。

２世紀がローマ帝国の最盛期だ。１～２世紀が (47)〔　　〕（ローマの平和）。パクスとはラテン語で「秩序」を意味する言葉だ。

【軍人皇帝時代（ぐんじんこうてい）】３世紀の (48)〔　　〕帝が最初の軍人皇帝だ。息子の (49)〔　　〕は (50)〔　　〕年の (51)〔　　〕**で全属州民にまでローマ市民権を広げた**ので，ローマ市民としての自尊心が欠落しはじめ，征服戦争の減少から質実剛健（しつじつごうけん）の気風も損なわれ，性道徳が低下し家族制度が崩壊，帝国の支配の基盤（きばん）が揺らぎはじめた。

【ディオクレティアヌス帝】(52)〔　　〕年に (53)〔　　〕が元老院の影響を排除し (54)〔　　〕を開始。また (55)〔　　〕（テトラルキア）を開始。自らは (56)〔　　〕で統治した。さらには (57)〔　　〕を強要し拒否した**キリスト教徒にたいする最後の大迫害**を行なった。

【コンスタンティヌス帝以降】帝国再統一にキリスト教勢力を活用，そのために (58)〔　　〕年の (59)〔　　〕で**キリスト教を公認した**のが (60)〔　　〕帝だ。(61)〔　　〕年の (62)〔　　〕では (63)〔　　〕の (64)〔　　〕派を正統，(65)〔　　〕派を異端（いたん）とした。(66)〔　　〕年には (67)〔　　〕に遷都し，(68)〔　　〕と改称（現 (69)〔　　〕），332 年には**小作人** (70)〔　　〕**に土地の移動を禁ずる法令を施行**（しこう）した。また (71)〔　　〕を流通させた。

その後，(72)〔　　〕帝は**ミトラ教**を採用し「**背教者**」となる。(73)〔　　〕年にはゲルマン人の (74)〔　　〕族が (75)〔　　〕川を渡り帝国領内に侵入，アドリアノープルの戦（378 年）でヴァレンス帝は戦死する。

(76)〔　　〕年 (77)〔　　〕帝は**キリスト教アタナシウス派を国教**とする。死後，帝国は分裂。長子アルカディウスと次子ホノリウスによりそれぞれ東ローマ（ビザンツ）帝国（(78)〔　　〕年～ (79)〔　　〕年），西ローマ帝国（(80)〔　　〕年～ (81)〔　　〕年）になった。

解答

(43) ストア派　(44) 後漢書（ごかんじょ）　(45) 大秦王安敦（だいしんおうあんとん）　(46) オケオ

(47) パクス＝ロマーナ　(48) セプティミウス＝セウェルス　(49) カラカラ　(50) 212

(51) アントニヌス法　(52) 284　(53) ディオクレティアヌス

(54) ドミナトゥス（専制君主政）　(55) 四帝分治制（していぶんちせい）　(56) ニコメディア　(57) 皇帝崇拝

(58) 313　(59) ミラノ勅令　(60) コンスタンティヌス　(61) 325

(62) ニケーア公会議　(63) 三位一体説（さんみいったい）　(64) アタナシウス　(65) アリウス　(66) 330

(67) ビザンティウム　(68) コンスタンティノープル　(69) イスタンブル

(70) コロヌス　(71) ソリドゥス金貨　(72) ユリアヌス　(73) 375

(74) 西ゴート　(75) ドナウ　(76) 392　(77) テオドシウス　(78) 395　(79) 1453

(80) 395　(81) 476

第６講　テスト①

1　ゲルマン人とローマ帝国の境界線は。
①　ライン川
②　ロワール川
③　ドニエプル川
④　セーヌ川

2　初めてキリスト教徒を迫害したローマ皇帝は。
①　ディオクレティアヌス
②　セネカ
③　ネロ
④　ヨハネ

3　五賢帝のうち，帝国領土最大はどの皇帝のとき。
①　トラヤヌス
②　ハドリアヌス
③　ユリアヌス
④　グラックス

4　五賢帝の五人目，マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝の作品はどれか。
①　随想録
②　自省録
③　集史
④　政体循環論

5　３世紀前半にローマ市民権を全属州民に拡大した皇帝は。
①　アウレリアヌス
②　ティベリウス
③　テオドシウス
④　カラカラ

6　キリスト教を公認したローマ皇帝は。
①　コンスタンティヌス
②　アントニヌス＝ピウス
③　アウグスティヌス
④　クラウディウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　キリスト教公認の勅令が発せられた都市は。

①　ローマ
②　アレクサンドリア
③　エルサレム
④　ミラノ

8　ニケーア公会議で正統とされたキリスト教の宗派。

①　アリウス派
②　アタナシウス派
③　ネストリウス派
④　エッセネ派

9　ニケーア公会議を開いた皇帝が遷都した都市の現在の名称は。

①　アンティオキア
②　イスタンブル
③　ウィーン
④　アヴィニョン

10　ソリドゥス金貨は東ローマ（ビザンツ）帝国では何と呼ばれたか。

①　ドラクマ金貨
②　ノミスマ金貨
③　ディナール金貨
④　クリロナ金貨

11　五賢帝時代が終わった年号は。

①　96
②　180
③　284
④　395

12　キリスト教がローマ帝国の国教となった年号は。

①　313
②　325
③　392
④　476

第６講　テスト①解答

1　①	2　③	3　①	4　②	5　④	6　①
7　④	8　②	9　②	10　②	11　②	12　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)〔　　〕は『(2)〔　　〕』で勤労の尊さを説き，『(3)〔　　〕』に神々の系譜を著した。(4)〔　　〕はオリンピア競技会の優勝者を讃えた『競技祝勝歌』を残した。アナクレオンは酒や恋愛をテーマとした叙情詩人。(5)〔　　〕(**『アガメムノン』**)・(6)〔　　〕(**『オイディプス』**)(7)〔　　〕(**『メディア』**) がアテネの３大悲劇詩人。(8)〔　　〕はペロポネソス戦争に明け暮れる男たちに妻たちが性的ストライキをするという反戦劇『(9)〔　　〕』を著した。

(10)〔　　〕を中心とする (11)〔　　〕からおこった自然哲学者の最初が万物の根源を「水」と考えた (12)〔　　〕。「数」と考えたのが (13)〔　　〕，「火」と考え「**万物(ばんぶつ)は流転(るてん)する**」と述べたのが (14)〔　　〕，「**原子（アトム）**」と述べたのが (15)〔　　〕。(16)〔　　〕はペリクレスと親交をもち (17)〔　　〕様式の (18)〔　　〕の再建工事の総監督を務めた。その本尊(ほんぞん)で現存しない**アテナ女神像**は彼の作だ。

前５世紀に民主政最盛期のアテネで活躍した弁論・修辞の職業教師を (19)〔　　〕(「知恵ある者」) という。その代表が (20)〔　　〕で「**人間が万物の尺度**」と述べ，**普遍(ふへん)的客観的真理はないという相対主義・主観主義**を表明した。いや，ある！という立場をとったのが (21)〔　　〕で**知徳合一(ちとくごういつ)を**主張し，**問答法(もんどうほう)**という対話を通じて「無知の知」を自覚させる方法を実践した。ソクラテスの弟子の (22)〔　　〕は**イデア論**を展開して観念哲学を説き『(23)〔　　〕』で少数の哲人が統治する哲人政治を理想とし，アテネ郊外に学園 (24)〔　　〕を建てた。そこでプラトンに学んだのが (25)〔　　〕だ。**マケドニアのフィリッポス２世に招かれて王子アレクサンドロスの教育係となり**，のちアテネに赴(おもむ)き学園 (26)〔　　〕を建てた。「万学の祖」と呼ばれ中世ヨーロッパの哲学・神学に多大の影響を与えた。代表的著作は『(27)〔　　〕』。

解答

（１）ヘシオドス　（２）労働と日々　（３）神統記(しんとうき)　（４）ピンダロス
（５）アイスキュロス　（６）ソフォクレス　（７）エウリピデス　（８）アリストファネス
（９）女の平和　(10) ミレトス　(11) イオニア植民市　(12) タレス　(13) ピタゴラス
(14) ヘラクレイトス　(15) デモクリトス　(16) フェイディアス　(17) ドーリア
(18) パルテノン神殿　(19) ソフィスト　(20) プロタゴラス　(21) ソクラテス
(22) プラトン　(23) 国家　(24) アカデメイア　(25) アリストテレス
(26) リュケイオン　(27) 政治学

古典ラテン語で書かれた文学をラテン文化という。初代ローマ皇帝アウグストゥス帝時代が黄金時代だ。(28)〔　　〕は叙事詩『(29)〔　　〕』で英雄アエネアスのトロイア脱出からローマ建国までの冒険物語を描いた。(30)〔　　〕は『叙情詩集』の叙情詩人。(31)〔　　〕はアウグストゥス帝に流刑に処された叙情詩人で『転身譜（てんしんふ）』『愛の歌』が代表作。(32)〔　　〕はアウグストゥス帝の厚遇（こうぐう）をえて委嘱（いしょく）され『(33)〔　　〕』を著した。１～２世紀の(34)〔　　〕は『(35)〔　　〕』でゲルマン社会を**『年代記』**でネロの死までのローマの政治史を著した。同時期の(36)〔　　〕は『(37)〔　　〕』でギリシア＝ローマの英雄を比較評論した。

カエサルやアントニウスと対立して暗殺された雄弁家（ゆうべんか）が**『国家論』**の(38)〔　　〕。ストア派の哲学者で**ネロ帝の師**が(39)〔　　〕。(40)〔　　〕は『博物誌』を著したが**79年のヴェスヴィオス火山の噴火（ポンペイの町が埋没）に際し窒息死**した。紀元前後のギリシア人(41)〔　　〕はヨーロッパからインドまでの『地理誌』を著した。２世紀のギリシア人天文学者でアレクサンドリアで活躍し天動説を唱えた(42)〔　　〕は**『天文学大全』**を著した。２世紀のギリシア人医師(43)〔　　〕はマルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝の侍医（じい）を務めた。前５～４世紀の小アジアの「医学の父」(44)〔　　〕と間違えないこと。前２世紀の(45)〔　　〕はカルタゴ炎上を目撃し『歴史』で**政体循環史観**を示した。

解答

（28）ウェルギリウス　（29）アエネイス　（30）ホラティウス　（31）オヴィディウス
（32）リウィウス　（33）ローマ建国史　（34）タキトゥス　（35）ゲルマニア
（36）プルタルコス　（37）対比列伝（たいひれつでん）　（38）キケロ　（39）セネカ　（40）プリニウス
（41）ストラボン　（42）プトレマイオス　（43）ガレノス　（44）ヒッポクラテス
（45）ポリビオス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講　テスト②

1　ペルシア戦争の『歴史』を物語風に描いたのは。

①　ソフォクレス

②　トゥキディデス

③　アリストファネス

④　ヘロドトス

2　ペロポネソス戦争の『歴史』を科学的描写で描いたのは。

①　ソフォクレス

②　トゥキディデス

③　アリストファネス

④　ヘロドトス

3　ペロポネソス戦争に明け暮れる夫たちにたいし妻たちが性的ストライキをするという風刺物語を書いたのは。

①　ソフォクレス

②　トゥキディデス

③　アリストファネス

④　ヘロドトス

4　ローマ建国の冒険物語『アエネイス』の著者は。

①　アルカディウス

②　リウィウス

③　ホラティウス

④　ウェルギリウス

5　ト・ヘン（一者）からの流出を唱え，キリスト教神学に影響した新プラトン主義者は。

①　トリボニアヌス

②　ストラボン

③　エピクテトス

④　プロティノス

6　『物体の本性』でデモクリトスの原子論から唯物論を展開したのは。

①　ルクレティウス

②　ガレノス

③　オウィディウス

④　ホラティウス

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第６講　テスト②解答

1　④　　2　②　　3　③　　4　④　　5　④　　6　①

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。